



沖縄県立首里東高等学

学校だより

第1号



# 東雲

令和7年4月15日(火)

発行者 校長 伊志嶺嘉典

## 令和7年度 校長あいさつ

令和7年度がスタートしました。本校での勤務は2年目を迎えました。昨年度は、生徒たちや保護者の皆様、そして教職員など多くの方々のご協力のおかげで、学校運営を円滑に進めることができ、感謝申し上げます。

特に、生徒たちの頑張りは目覚ましく、39期生の進路実績では、国公立大学に19名をはじめ、私立大学にも多数の合格者を輩出し、多くの生徒が進路を決定して卒業することができました。また、部活動においても、ボーリング、卓球、水泳の個人種目で九州大会や全国大会へ出場、さらには、合同オーケストラの一員として全国高文祭へ派遣されるなど、素晴らしい活躍を見せてくれました。

今年度も、生徒一人ひとりの持つ可能性を引き出し、社会で活躍できる人材を育成するために、教職員一丸となって、取り組んでまいります。引き続き、本校の教育活動に対する皆様方のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。共に、実り多き一年を築いていきましょう！

### ～ 第42回入学式 ～

4月7日(月)、第42回入学式が執り行われました。真新しい制服に身を包んだ初々しい新入生たちが、希望に満ちた表情で式典に臨みました。

校長式辞では、新入生の皆さんへ、他者を尊重する「**人の気持ちを思いやる心**」と、自身の将来を深く見つめる「**自らの生き方、あり方についてしっかり考える**」ことの二つをお願いしました。続く祝辞では、**玉城政典 PTA 会長**より、在学中に地域のイベントやボランティア活動へ積極的に参加し、様々な年代や立場の方々と交流することで、視野を大きく広げてほしいという温かいメッセージが贈られました。

新入生を代表してあいさつに立った**野田健斗**さん(首里中出身)は、高校生活への期待を胸に、「毎日を大切にし、仲間と互いに協力し支え合いながら、多くの思い出を作り、充実した3年間を送りたい」と、力強い言葉で決意を表明してくれました。また、在校生を代表し、**生徒会長の新垣心貴**さんからは、

「雨垂れ石を穿つ」という言葉を引用し、小さな努力も根気強く続ければ大きな力となると激励するとともに、「文武両道で充実した高校生活を送りましょう」と、歓迎の言葉が贈られました。



### 就任式・始業式

本年度、新たに伊禮光国教頭をはじめ、20名の先生方が本校に赴任しました。就任式では、各先生方から、生徒の皆さんとの出会いを心待ちにしているという、温かいメッセージが述べられました。

続いて行われた始業式では、皆が気持ち良く学校生活を送る上で必要となる「**ルールやマナーをしっかり守ることの意味**」を改めて考えること。大リーグで活躍したイチロー選手の言葉を引用しながら、「**凡事徹底**(当たり前のことを当たり前、徹底してやり続けること)」の実践を促しました。

新しく迎えられた先生方と共に、生徒一人ひとりが新たな目標に向かって邁進する、充実した一年となることを期待しています。